

古今圖書集成

心形像銘形

六

113

769

6

5

10

15

20

25

30

413
769
6

心形像押形

山城物

左券

○大奈永安

天正五年二月
花房仙
奈國老身股
奈國次

○奈國真

系

○奈國蘇

捺角して戸白

系

○奈國吉

捺角して小肉は戸並也 (玉乃は似り)

系

○奈國次

捺角して戸換下は遠戸をこの事也

○奈國次

地舎もぬり
角
入る
是

系

来国次 ○

平山形

京都住倉原国長乍

角

栴角ニシテ小肉を以テ曰

古系ノ方カ之

教位永品先打後合乃首阿沐と打又思先打又三條と打と也

昌作ニ ○

栴角伊同万里小路ノ位人

系

国来 ○

国行子

栴角伊同西三味国後牙赤あ島と云
栴角伊同伊橋下

切

栗

国音 ○ ○ ○ ○ ○

国清

栴角ノ一七小肉わり伊同

栗

速長比

久国

肉わり

栴角ノ一七伊同速長比又云速長伊同と云
乃のせと細しり三尺八寸七分全定之と年島山馬場なる也

栗

国想 ○

三多ぬのち力細ぬわり

云はれぬぬち力細ぬわり

栴角ノ一七肉わり伊同

利直進之

号伊国想

号鈴波

国想 ○

角

栴角小肉アリ細しり三尺六寸五分

栗

国銀 ○ ○

角

栴角伊同

栴角ニ小肉わり伊同 平安藏位丸馬射国長乍

栴角ニ小肉わり伊同

国吉 ○

角系

国吉 ○ ○

切

弘安十丁火大二日

未行 ○

永觀二年二月二日

系三系

為の栢園承はゆり

宗近 ○

栢角以て小肉わりの戸内

角

了久倍 ○

系新作内

角

角大内

系
了戒 ○

宗近 ○

因永 ○ ○

角

系
系為永才
系一系海を

栢角以て小肉わりの戸内

栢角以て小肉わりの戸内

○平安城佳光長

角

○ ○ 來源因後

主年
七十八

角

系

一虎能入乃和易尻急うり流く

一文保元年丁巳七月日栢角因後矢目わりの全室を

欠永 ○

角

系

定利 ○

一栢角以て小肉わりの戸内並に遠小沼の取

系
後を為

定利 ○

栢角以て戸内並に遠小沼の取

定利 ○ ○

角小
肉ア
リ

切

切

栗田

○七次

一栴角ニメテ曰

栗田 困也子

○正次

一角ニメテ曰

栗田

了戒 ○

一栴角ニメテ曰は作元徳二年十月十三日とありし

京

未 函 俊 永仁四年十二月十六日

栴角ニメテ小角わりテ曰

栴角ニメテ曰

○未 函 俊

京 雙

栴角ニメテ小角わりテ曰

貞治の頃の事

○信 函

来 函 光 ○

栴角ニメテ曰

京 親

○信 函

京 疎

栴角ニメテ小角わりテ曰

○信 函

来 函 光 ○

栴角ニメテ曰

京 親

○信 函

角

京 法

栴角ニメテ小角わりテ曰

○信 函

祖父才 孫才

○信 函

○

角

栞角ニシテ小肉アリテ久信子

○未国久

○心光

京達子

京ムクを部

長光 ○

角

栞角ニシテ小肉アリテ久信子

定俊 ○

栞角ニシテ小肉アリテ久信子

栞角アリテ肉アリテ久信子

京達子

○心光

京達子

栗田口家刻

栞角ニシテ小肉アリテ久信子

○国行

栞角ニシテ小肉アリテ久信子

京達子

○心光

京

○国行

角ニシテ小肉アリテ久信子

栞角

○頼安貝作

角

栗田口

栗田口

○国資

○

角ニシテ小肉アリテ久信子

時信焼之

棟角アリ

棟角ニメ小肉あり江戸

原。末園俊

刺運

栗田口

了久信

棟角ニメ江戸横下

新造ニメ 棟角ニメ江戸

了久信

宗近

京

函行

函行

棟角ニメ江戸横下 せきかま

吉長作

角

(元禄ノ年中の事)

吉長

小肉

棟角ニメ小肉アリ江戸

綿小肉多極位

吉長ノ親

京都住人菅京長吉

角

(栗田口)

棟角ニメ江戸横下 丁ノニ午十二月日

団支

出巻

角ニメ小肉

棟角ニメ江戸

号者林

貞丸

栗田口団結

棟角ニメ江戸

棟角ヲ新ク

徳念丸

○山内住國總

利普切

一棟也

○相列住正廣

一日大京ノ年中ノ志之杖廣子

行○光

行光ウレトモ
同作

子

父

正廣作○

角中ニ新キ

行光

角ニ小肉ヲ新キ又ウレトモ

行○光

真國○仁○

角ノ新キ

角ニ小肉ヲ新キ

角ニ新キ中ニ新キ

行光内

徳念丸

角ニ棟ノ新キ

○行光

角光宗

○相模國住人廣光

一云ハ新キ

尾尾尾

光宗 ○

角ニ新キ

角ニ又丸ニ新キ

○國廣

○國廣

切

尾

角ニ肉ニ移年同

進夜丑

○国光

後

○国光

角ニ肉ニ移年同

書易山内作田親孫套移様下
正申二年七月日

○相州住杖廣

角
どわり

○国光

正安二年六月日

角ニ肉ニ移年同

角
どわり
又その方の
くわうり
まふり

秋國

○国弘

角

角ニ肉ニ移年同

新作入を執

○助真

角ニ肉ニ移年同

角ニ肉ニ移年同

角ニ肉ニ移年同

相州住 ○吉廣

○国重

正安二年八月日

角ニ肉ニ移年同

○国重

角ニ肉ニ移年同

長多力

乾元元年

江州甘呂伎長

○延文女寺度子

角ニ肉ニ移年同

国組

大和物

千手院

角ニ肉ニ移年同

○千手院

角ニ肉ニ移年同

○康皇

行信子

千手院

棟角ニ小肉わり伊並邊

行信子

千手院

棟角ニ小肉わり伊並邊

角ニ小肉わり伊日

行信

角ニ小肉わり横下

角

千手院

行信子

千手院

角ニ小肉わり伊横下

定重

千手院

日棟

是ハ行信子ノ刀敷ハありテ重弘子ノ後子孫ノ廟宇ト云
千手院ノ重弘ニ對シテ大和ハ行信ト云ルト云ク千手院ニ是邊ヲ設ケルト云カ列ノ重
弘子孫ト云ク千手院ノ行信也

千手院是重

▲棟角ニ小肉わり伊並邊ト云ク千手院カ重弘ト云ク是上ノ心ニ重弘ト云ク
▲棟角ニ小肉わり伊並邊ト云ク千手院カ重弘ト云ク是上ノ心ニ重弘ト云ク

千手院是重

一棟角ニ小肉わり 包永 角

包永

角

行信

角ニ小肉わり伊横下

行信子

千手院

角

千手院

千手院

角ニ小肉わり伊横

行信子ノ後子孫ノ廟宇ト云ク千手院ト云ク是上ノ心ニ重弘ト云ク
是上ノ心ニ重弘ト云ク千手院ト云ク是上ノ心ニ重弘ト云ク

切

子午院 ○

一角ノ肉わり 戸垂迄

一角ノ
小肉わり

○ 子午院

一角ノ
小肉わり

是後千石院之行信迄之字名等目貴院の下中世之儀千石院と申打て
名ふ所御申 行信と打ては四ノりりか千石院と云々

角ノ小肉わり 戸垂迄

千石院

重弘

小櫓の儀

○ 重弘

九ノ御日御名と様下

千石院を御

○ 已永 ○ ○

梅ノ肉わり 戸小垂迄

宇多

○ 圓光

一角ノ戸白

角

宇多 圓光 友

角ノ小肉アリ 戸垂迄

小肉

○ 宇多 圓光

圓光ノ圓の字と云ふ所と申

○ 宇多 圓光 房

円棟 棟角ノ小肉アリ 戸垂迄

後

○ 宇多 圓光 示

角ノ戸垂迄 小肉ありと云

次有 ○○

一角ノ小肉あり 伊 杵 差 透

一角ノ小肉あり 伊 小 杵 差 透

伊 國 房 の 様 子 也

杵 丸

長谷部 国重

角

未 国

池 の 子

角ノ小肉あり

角ノ小肉あり 伊 同

長谷部 国重

大和 則長 作

尻 鉤

長谷部 国重

杵 丸 伊 杵 差 透

長谷部 国信

角ノ小肉あり 伊 同

角ノ小肉あり 伊 同

有 俊

長 有 俊 と 云

戈 光

高 千 穂 の 上 云

国 行

杵 角ノ小肉あり 伊 横

高 田 六

角ノ小肉あり 伊 横 下

力 王

角

千 手 院 を 弘 子 和 切 伯 人 と 云 千 手 院 を 打 出 せ ば 打 國 行 を 打 云

力 王

杵 角ノ小肉あり 伊 杵 差 透

○ 行光

角ニ小肉あり淨重邊

○ 定利

角ニ小肉わり淨重

○ 困永

角ニ小肉あり淨重

拵日

切

○ 包次

角ニ小肉アリ淨重

同拵文殊四節始の多々なハ包吉トナ

○ 包吉

角ニ小肉わり淨重邊

角めは淨重
打者あり

○ 未行

角ニ小肉アリ淨重

角

ちわそのり

○ 包氏作

ちろ 淨重ひくさゆり

○ 包氏

角ニ小肉あり淨重邊

延文五年より

角

○ 延吉

ちとろ

角ニ横下又さうりさね打と

ちとろ

角

○ 利光

角ニ淨重邊身の小肉あり

角ニ小肉あり淨重邊

○ 包光

○ 長光

○ 以及國行作

○ 友則

藤原貞吉作

角ニメ小肉わりの紐様

包央

長光

角ニメ紐並透

貞治三 包利

角ニメ紐並透

和州国分寺住

棟角ニメ並透小肉アリ横下もわり

泉水

角ニメ紐並透

包真

角ニメ小肉わりの紐並透

返巻

吉行

は若の字と若とすも同也

角

大和国住人時未作

包貞

金吾藤貞吉

切

三巾 老金吾藤貞

重則

友清 ○

角ノ尻並並高テ圓行ケ子

大和國住人巳永

楯尻ノ面々方ノ角

号如之節

角ノ肉

巳行 ○

角ノ肉アリ楯ノ尻後下

大和國高市郡住人丸手一村藤原貞吉入

角ノ肉アリ楯ノ尻ノ

切

大和國吉行。了龍門山本長吉作

○長四

尻之把

羨濃物

丸ノ尻並並

おろりめん並中ニあると

行瀧

楯ノ肉アリ楯ノ尻

濃州住魚吉

一廉ノ年申のり

志津 ○ 濃州住魚友

乙卯年申

角ノ尻並並

魚友

乙卯年楯尻後下

○ 濃州住藤原國長作

角ニメ小肉アリ尻向

康平二年二月日

千午院 ○

赤板

おろりめん並

千手院 道下

（棟角ニメ小肉切り）
（長年二年二月日）

魚光 ○ 八月日

（棟角ニメ行垂垂）

和加ら来六の次

王光 ○

濃州住魚吉

関の初

（康平元年六月日）

魚氏

角ニ丸

以爲者
サも打之

魚氏

角ニ丸 行垂下

王光 ○

肉ニ角

蜂をす

○ 國長

○ 金重

棟角ニメ肉わり 行垂垂をす子

（棟角ニメ行垂下）

右板なり

○ 金重

金重

角ニメ行垂垂

合子

雙

○ 主司命

（角ニメ行垂垂 此の打のテ切らる）

○ 王光

角

○ 主命

角ニメ行

達戸親

六十九

金重

七回
近

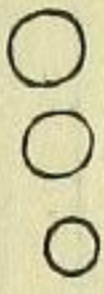
壽命

棟角ノ小肉ノリ

壽介

備前物

口口分サシノノ板ノ表の紐の下にみえはる病後の印



角ノ小肉ノリ

備前長守安

角ノ小肉ノリ

角

貞治三年三月

景依

角ノ小肉ノリ

景依造

角ノ小肉ノリ

備前長舟往重真

角ノ小肉ノリ

寛文二年二月日

角ノ小肉ノリ

〇 巳次

大和文殊印

備前長敏光

角ノ小肉ノリ

元和六年三月日

角

角

角

角ノ戸曰

〇〇〇州長船光弘

貞治三年四月日

魚
〇〇〇州長船助久

切

新作也

〇 真高

角ノ小肉わり戸様下

角ノ小肉わり戸様下

延永三年七月四日

は敷八とそ

新作也

遠近 〇

角ノ戸曰目黄虎の上下よおん

三和物切也

助久 〇 〇

角ノ戸曰

新作

吉信 〇

角ノ小肉わり戸様下

新作

〇 利恒

角ノ戸曰小肉わり戸道子

切

初

長船吉元 〇 〇 〇 〇

角ノ小肉わり戸曰

角

吉元 〇

角ノ小肉わり戸曰

角

新作上

備前国長船住近景 〇

初

角ノ戸曰

元禄二年三月日

〇十九

保弘造 ○

角ノ直邊換下

助吉 ○

一文字助則子孫角ノ小肉わり淨直邊

○○助吉

角ノ直邊換下

備前國長船義光

角ノ直邊換下

備前國長船左兵衛大夫藤原義光

角ノ直邊換下 延文元年卯九月日

三徳也 淨直邊換下

貞總

○助庸

角ノ直邊換下

垣真 ○ ○

角ノ肉わり淨直邊

備前国住則次

○

正和七年三月日

備前長船守政 ○

角ノ直邊換下

永享五年二月日

國宗

角ノ下

後多の
内方より

國宗

角ノ小肉下リ 下横下

角

後多の

日

國宗

角ノ下横下 小肉下リ

大野本太刀之

小肉

○ 國宗

國宗

○

角ノ下

六終

早稲田大学図書館

011888002270